

地区だより

令和4年5月1日発行

# ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,877人 女 20,480人  
計 39,357人  
世帯数：20,930世帯  
(4月1日現在)



## 市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎525-3710 ㊟536-9828

### 地域生活基盤整備事業の実施状況をお知らせします

市では、各地区自治振興協議会から寄せられた街路灯・道路反射鏡の設置、道路側溝の修繕などに対応する地域生活基盤整備事業を実施しています。

中央東・西地区における令和3年度実施箇所をお知らせします。

■問/地域共創課 ☎525-3731



#### 【中央東地区】

No.	事業名	事業箇所	数量	関係町内会
①	道路反射鏡設置	北町地内	1基	北町協和会
②	道路反射鏡設置	東浜町地内	2基	東浜町会
③	道路反射鏡設置	堀河町地内	1基	堀河町会
④	道路反射鏡設置	八島町地内	1基	五十辺親交会
⑤	道路反射鏡設置	曾根田町地内	1基	森合町町会
⑥	道路側溝修繕(蓋掛け)	堀河町地内	23.1m	堀河町会
⑦	道路側溝修繕(蓋掛け)	入江町地内	13.2m	五十辺親交会
⑧	道路側溝修繕(浸水対策)	上浜町地内	6.0m	上浜町会
⑨	道路薄層カラー塗装設置	堀河町地内	27.8㎡	堀河町会

#### 【中央西地区】

No.	事業名	事業箇所	数量	関係町内会
⑩	街路灯設置	野田町字田中・清合内前地内	2基	野田町北部町会
⑪	道路標示	野田町四丁目地内	Tマーク1箇所	野田町西部町会

## 令和4年度地域コミュニティ等支援事業補助金申請団体を募集します

地区ごとに策定された「ふくしま共創のまちづくり計画」に基づく地域活動を支援するため、地域の課題解決、地域コミュニティの活性化、地域環境の整備などに主体的に取り組む団体などの活動に係る費用を補助します。



◀詳しくは市ホームページをご覧ください

■問/地域共創課 ☎525-3731

#### 【令和3年度補助事業】

実施団体	事業名	対象経費
中央東地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会	花によるおもてなし事業	花苗、事業周知チラシなど
市交通対策協議会第一小学校区支部	地域の安全安心を目指す啓発推進	被服(ブルゾン)
腰浜町会	近隣町会との連携による地域防災力向上(地域間での情報共有、講習会の開催)	避難所案内看板
市交通対策協議会第三小学校区支部	交通事故防止街頭指導活動	被服(帽子など)
カメラヤコーポラス町会	町会防災力向上(自主防災訓練)	応急担架、ハンドメガホン
市交通対策協議会清明小学校区支部	交通事故防止立哨活動	交通事故防止看板
第6方部民生児童委員協議会	安全安心なまちづくりに向けた人材育成	被服(ベスト)

# 中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター  
〒960-8018 福島市松木町1番7号  
☎534-6631 ㊟533-7592

## 中央家庭教育学級 受講生募集



親子で体を動かしたり、音楽に触れたりしながら、育児の大切さと楽しさを学びます。「ママ友・パパ友」を作って、一緒に「楽しい育児」を学びましょう。右のQRコードよりお申込みください。[締切：5月19日(休)]

<p><b>0歳児コース 「カンガルー教室」</b></p> <p>◆対象：令和3年7月～12月生まれのお子さんと保護者</p> <p>◆定員：15組(抽選)</p> <p>◆参加費：500円(保険料・材料代含む)</p> <p>◆期間：6～9月の主に水曜日</p> <p>◆時間：午前10時～正午</p> <p>◆回数：全8回</p>	<p><b>1歳児コース 「ペンギン教室」</b></p> <p>◆対象：令和2年7月～12月生まれのお子さんと保護者</p> <p>◆定員：15組(抽選)</p> <p>◆参加費：500円(保険料)</p> <p>◆期間：6～9月の主に水曜日</p> <p>◆時間：午前10時～正午</p> <p>◆回数：全8回</p>	<p><b>2・3歳児コース「カルガモ教室」</b></p> <p>◆対象：平成30年11月～令和2年6月生まれのお子さんと保護者</p> <p>◆定員：10組(抽選)</p> <p>◆参加費：1,000円(保険料、材料費)</p> <p>◆期間：6～10月の主に水曜日</p> <p>◆時間：午前10時～正午</p> <p>◆回数：全10回</p>
--	---	---

## 市民学校受講生募集！ どうぞ、お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

### 学習センターデビュー講座

この春、学びをはじめたいシニア世代の方へ、4回連続の講座を実施します。この機会に中央学習センターへ足を運んでみませんか？

- ◆第1回 5月21日(土)「人に伝わるコミュニケーション」  
・講師：ラジオパーソナリティ 高橋 ゆうこ氏
- ◆第2回 5月28日(土)「陸のカーリング、ユニカールに挑戦！」  
・講師：福島市スポーツ推進員 山田 達男氏
- ◆第3回 6月4日(土)「万葉集に学ぶ、令和のころ」  
・講師：古典文学研究家 金澤 武男氏
- ◆第4回 6月11日(土)「ここがイネ！学習センター学びのすすめ」  
・講師：前三河台学習センター館長 鈴木 公雄氏、  
前蓬萊学習センター館長 安田 真澄氏

◇とき：午前10時～正午  
◇ところ：中央学習センター 2階ホール ほか  
◇参加費：100円(資料代) ◇申込み：5月18日(木)まで  
①市オンライン申請、②中央学習センター窓口  
※詳細は、市ホームページをご覧ください。



### ふくしま花のまちづくり事業「花のまちガーデニング教室」 初夏の寄せ植え

- ◆日時 6月25日(土)  
午前10時～正午
- ◆参加費 1,500円(材料代)
- ◆ところ 中央学習センター 2階ホール
- ◆講師 あとりえ・悠然 代表 五十嵐 和恵 先生
- ◆対象 中央地区に在住、在勤の方
- ◆内容 夏の花の育て方や管理方法など実際に寄せ植えを体験しガーデニングの基礎知識を学びます。
- ◆定員 15名(先着順)
- ◆申込み 6月1日(水)～6月17日(金)までに参加費を添えて中央学習センター窓口にてお申込みください。  
6月2日(木)より電話受付をします。

## お試し講座のご案内 まずはお気軽にどうぞ！参加をお待ちしています。

### ヤングカレッジ中央

福島市在住または在勤、在学の18歳～35歳程度の方が自分たちの「やってみたい！」を企画・運営しています。

- ①「信夫山ハイキング」  
◆日時：5月14日(土) 午前9時半～正午(予定)  
◆講師：信夫山研究会 会長 浦部 博氏  
◆参加費：無料
- ②「春の和菓子を作ってみよう」  
◆日時：5月25日(水) 午後7時～9時  
◆講師：一味庵 代表 氏家 一浩氏  
◆参加費：1,000円

【申込み】①5月6日(金)、②5月19日(木)まで。窓口、電話、メール(chuou-ic@mail.city.fukushima.fukushima.jp)で受付。  
※詳細は、福島市HPをご覧ください。

### 中央女性アカデミー

#### 第2回オープン講座「パーソナルカラー講座」

5月に開講する中央女性アカデミーのお試し講座です。自分に似合う色(調和する色)を見つけて普段のファッションやメイクに応用しましょう。

- ◆日時：5月13日(金) 午前10時～正午
- ◆場所：中央学習センター 2階ホール
- ◆講師：日本カラリスト協会認定講師 小池 久子 先生
- ◆対象者：主に市内中央地区在住・在勤のおおむね20～60代の女性
- ◆定員：40名程度(先着順) ◆参加費：100円
- ◆持ち物：筆記用具
- ※ナチュラルメイクでお越しください。(カラーコンタクト不可)
- ◆申込み：4月22日(金)から窓口、電話、福島市オンライン申請システム(右のQRコード)より受付。



## 令和やさしい地元学 信夫野・歴史の細道 第14回 ふくしまけん歴史の案内人の会(元福島県遺跡の案内人の会) 会長：紺野義行氏

### ほんとうに「大仏」は「だいぶつ」とよばれたのか？

大仏城はのちの福島城、現在の福島県庁の地にあった。県庁正面の北入口に大仏城跡の碑がある。応永20年(1413)4月、鎌倉公方(かまくらくぼう：室町時代に設置された鎌倉府の長)に反乱を起こした伊達松犬丸(持宗：11代)が懸田定勝とともに立て籠った城が大仏城とされている。このとき松犬丸が「大仏城」を造ったともされる。城の南方と東方は阿武隈川、西方は荒川が流れており堅固な守りの城とされた。

応永16年(1409)鎌倉公方が足利持氏(もちうじ)に代替わりすると、足利満直(みつただ：篠川御所)と持氏の関係が悪化したため、次第に満直は幕府と結びついて南奥諸氏を反持氏でまとめようとする。応永19年(1412)松犬丸は家督を継ぐと、翌年鎌倉府に対し反旗を翻し篠川御所(郡山市)・稲村御所(岩瀬郡稲村)を攻撃した。

さて、大仏城の大仏は何と読むか？「だいぶつ」か「おさらぎ」か。時は流れ、奥羽に一大勢力圏を築き上げた伊達祖宗(14代)は、一挙に拡大した伊達家中の統制を図るべく「棟役(むらやく)日記」・「塵芥集」・「段銭(たんせん)古帳」等の分国法・台帳を次々に作成して集権化を推し進めていった。

天文4年(1535)「棟役日記」では信夫は「大ぶつかた・なくらかた・大くらかしめ」の3つに区分されている。これによって、「大仏」が「大ぶつ」とよばれたと思われる。また、天文7年(1538)伊達氏が郷村とそこから収納される段銭の高を記載した台帳である「段銭帳」では、信夫は「大仏かた・御はんの所・北郷・なくらかた」の4つに区分されていた。「御はんの所」の村々は南の八丁目・天明根から北の石森・丸子などに至る南北の線上の奥大道が通る交通の要所が含まれて分布されている。このときみられた杉目は、文禄3年(1594)「高目録」にはみられず、新しく「福島村」が現れる。これによって、蒲生氏郷によって杉目が福島に改称されたとする説が証明されたことになる。



県庁前の大仏城跡碑

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。